



ダイヤモンド  
シティ  
小美玉  
見つける。  
みがく。  
光をあてる。

もっと小美玉を語りたくなるマガジン

2023年  
November

11

contents

広報  
おみたま  
第212号

【特集】第1回おみたま花火大会	2-5
令和4年度決算	6-7
わだい	8-10
TOPICS	11-14
四季の歌	15
4コマ小美玉暮らし	16

第  
一  
回

おみたま花火大会

新たな魅力を今、おみたまの空へ

広報  
**おみ  
たま**  
第212号

第  
一  
回

おみたま花火大会

新たな魅力を今、おみたまの空へ

玉里地区の

大井戸湖岸公園で開催された

「第一回おみたま花火大会」。

市内小中学生から募集した

「新たな魅力を今、おみたまの空へ」

をテーマに、霞ヶ浦湖上から夜空へと

花火が打ち上がりました。

花火や会場の雰囲気など、

当日の様子をレポートします。

今月の表紙



表紙は会場の大井戸湖岸公園  
の中で撮影した花火。大会当日  
は、家族や友人グループなど多  
くの方が会場に足を運び、ス  
テージイベントや花火を鑑賞  
する人たちで賑わっていました。

撮影協力

あかがみめぐみ はしもと えみゆ さいとう しろう  
赤上 恵 / 橋本 笑優 / 斎藤 翔



### ご協力ありがとうございました!

花火大会から一夜明けた8日(日)、地域の方や企業の皆さんと協力しながら、会場や周辺地域で清掃活動を行いました。大会開催に向けては、さまざまな方の協力で支えられて花火大会を開催することができました。

#### ■第1回おみたま花火大会収支

収入: 6,700万円  
(市補助金3,500万円、協賛金、チケット売上)

支出: 4,100万円  
(花火打上費、送迎バス、使用料など)

差額: 2,600万円(市へ戻入)

※金額は精算中のため  
変動が生じる場合があります。

協賛企業・団体の一覧はこちら▶



10月7日、小美玉市ではじめての花火大会「第一回おみたま花火大会」が会場周辺の地域や各種団体の皆さんの協力のもと行われ、約3万8000人が来場しました。会場の大井戸湖岸公園には有料観覧席としてゆったりと花火を鑑賞できるテーブルと椅子が置かれ、市商工会青年部が企画したステージイベントに足を止める来場者の姿もありました。小川地区で活動する粋州囃子連と小川大獅子會によるお囃子や獅子舞い、地元の方の出店や露店が並び、来場者は花火大会がスタートするまでの時間を楽しんでいました。花火大会は来場者の皆さんのかけ声に合わせて「カウントダウン開幕花火」祝砲・一斉打ち」を打ち上げてスタート。音楽が融合した約5000発の花火が霞ヶ浦湖上の夜空を彩りました。花火大会はおみたまの新たな魅力として、来場者の心に大切な思い出を残しては幕を閉じました。

写真で振り返る

# おみたま花火大会

会場の雰囲気や  
夜空に咲いた花火の様子など  
花火大会当日を  
写真で振り返ります。



大きな花火の迫力に家族  
全員大興奮でした。

あやこ 彩子さん  
しげはら じんぺい 茂原 潤平さん  
なこちゃん



花火と音楽が融合して  
素敵でした。お祭り感も  
あって良かった！

えのもと ふみお 榎本 文雄さん  
ゆあ 優杏さん  
りな 律奈さん  
くみこ 久美子さん



いろいろな出店があって、食事も  
楽しみながら、湖上から上がる  
綺麗な花火を見れました！

しょう 翔さん  
さいとう まい 齋藤 真依さん  
ゆき 由紀さん



花火の豆知識もあって勉強になり  
ました！フィナーレの花火も盛  
り上がりしました。

まづき ゆめ 鈴木 結女さん  
はぎわら りょうすけ 萩原 涼介さん  
さいとう まい 齋藤 真里佳さん  
ゆきな 友里奈さん





花火師  
の声

## 子どもたちの心に残る花火を

花火大会終了後、たくさんの方から「すごく綺麗だった」「また、山崎さんの花火がみたい」など温かいメッセージをいただき嬉しかったです。第1回なので、メリハリを付けながら、ストーリー性のある演出を意識してプログラムを考えました。子どもたちが花火を見て何かを感じてくれたらと思います。また、花火大会の日に合わせて地元を離れた人が帰省して家族で見るようなイベントになることを期待しています。



(株)山崎煙火製造所  
代表  
やまざき ともひろ  
山崎 智弘さん

実行  
委員長  
の声

## 霞ヶ浦から上がる唯一の花火

当日、心配していた天気も問題なく、音とマッチした花火を霞ヶ浦湖上で行えたことは、新たな小美玉市の魅力になったと思っています。花火大会終了後に会場で花火の感想を話す来場者の表情を見た時、開催して良かったと感じました。駐車場や会場までのアクセスなど、様々な課題が残りましたが、霞ヶ浦湖上で上がる唯一の花火大会として、次の開催に向けて、課題を整理しながら続けていきたいと思っています。



小美玉市花火大会  
実行委員会委員長  
のかが 額賀 茂樹さん

